



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2020年(令和2年)6月5日号 No.1827

目次

■ ロシアの地域別業種別平均賃金ランキング	1
■ 統計速報	6
2020年1～4月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／6	
2020年1～4月の日ロ貿易／7	
■ キーパーソン	9
ベラルーシ新内閣発足／9	
■ トピックス	11
結核治療薬のロシアでの販売承認取得／10	
コロナ封鎖でロシア経済低迷表面化／11	
7月、ロシア憲法改正の国民投票実施へ／11	
ロシア、経済復興計画を承認／11	
プライメタルズ、チェリャビンスク製鋼所の近代化完工／11	
OPECプラス、大幅減産1カ月延長で合意／12	
ヌルスルタン・ナザルバエフ空港の新コード／12	
ロシア・NIS諸国における新型コロナウイルス関連のニュース／12	

ロシアの地域別業種別平均賃金ランキング

はじめに

2020年3月23日、ロシアの格付け機関「RIA Rating」が地域別業種別の平均賃金ランキングを発表した。これは各地域の労働人口の2%以上が従事している業種について、企業の常勤社員の2019年の平均賃金に基づいている。「平均賃金」というのは、ロシアに限らずあまり参考にならない。しかし、本ランキングは地域別だけでなく、業種別にもなっており、各地域の上位3業種が紹介されているという点でなかなかユニークな構成になっている。そこで、本稿ではこのリストを紹介する。

ロシアで最も平均賃金が高いのはサハリン州の石油ガス採掘業であり、平均賃金は35万ルーブルだ。これは第2位となったモスクワ市の金融業(17万1,000ルーブル)の2倍、同じサハリン州で第2位の資源関連採掘サービス業(13万7,000ルーブル)の2.5倍以上である。また、モスクワ市のIT産業従事者(16万9,000ルーブル)の平均賃金は第3位のヤマロ・ネnetz自治管区の石油ガス採掘業(15万ルーブル)より高い。興味深いのは第10位にコストロマ州の金融業(11万7,000ルーブル)がランク入りしていることだ。第2位の木材加工業の平均賃金はわずか4万ルーブルであり、金融業だけが突出している。コストロマには連邦銀行「ソフコムバンク」の本社があるためこのような結果が出ている。ロシア統計局によると、2019年のロシア全体の平均賃金は約4万1,000ルーブル(対前年比9.1%増)であった。